

## 第2学年 国 語

### 1 学習の進め方

- (1) 毎週漢字テストを行います。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 話をしっかり聴いて、工夫しながらノートをとりましょう。
- (4) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5) 相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6) 硬筆書写教材やプリントなどを使って言語に関わる力を養いましょう。
- (7) 二学期末から書き初めに向けた毛筆の授業に取り組みます。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。  
…教科書、ノート、便覧、プリントファイル、ファイル、「例文漢字」（漢字ワーク）  
漢字ファイル、書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身につけましょう。
- (3) 提出物は期限を守りましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 発言は大きな声ではっきりとクラスみんなに伝えましょう。
- (6) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書や新聞等を通して活字に親しむ習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法についてはしっかり復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) 計画的に復習に努めましょう。

### 4 定期考査に向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、ノート、プリント類をしっかりと読み直したり、見返したりしましょう。
- (2) ノート、プリント類に記入した内容が十分に理解できているか確かめましょう。
- (3) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (4) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるようにしましょう。

## 5 2年生での学習内容…授業時間は、週4時間 年間140時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	見えないだけ 1 広がる学びへ	10月	5 論理を捉えて
5月	2 多様な視点から	11月	6 いにしへの心を訪ねる
6月	情報社会を生きる 3 言葉と向き合う	12月	読書に親しむ
7月	読書生活を豊かに	1月	7 価値を語る
8月		2月	8 表現を見つめる
9月	4 人間のきずな	3月	8 表現を見つめる

※上記以外に書写の授業があります。

## 6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。

(定期考査、漢字テスト、書写等)

#### 観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。

(発表、スピーチ、ディスカッション、朗読等)

B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。

(定期考査、課題作文等)

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。

(定期考査等)

#### 観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。

(定期考査、提出物の提出状況・内容等)

## 7 備考(注意事項・アドバイスなど) 特になし。

## 第2学年 社会科

### 1 学習の進め方

- (1) 1・2年生で地理・歴史、3年生で公民を学習する
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する
- (3) 対話的な授業を心がける、先生と生徒のやり取りや生徒同士の話し合いを大切にする
- (4) ふり返りをし、1時間のなかで何を学んだか、まとめる
- (5) 状況に応じて小テストを実施する

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業プリントは、フラットファイルにまとめましょう。
- (2) 地理と歴史で別々のファイルを用意しましょう。
- (3) 授業中に板書したこと、説明したことのうち必要と思うことは積極的にメモしましょう。
- (4) 重要語句はマーカー・色ペンでチェックする等、授業プリントのまとめ方を工夫しましょう。
- (5) 調べ学習やグループでの話し合い活動には積極的に取り組みましょう

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 復習をする場合には、授業プリントと教科書を照らし合わせ、よく確認しましょう。  
学習したことは忘れる前にワークで確認することも大切です。
- (2) 予習をする場合には、教科書をよく読み、太字で表記されている重要語句を確認するようにしましょう。
- (3) 定期考査前には学習したことを（自分で）ノートにまとめてみることも有効な勉強方法です。  
授業プリント、教科書、ワークを活用して「ノートまとめ」をしてみましょう。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 学習の基本は、用語や地名などの重要語句を覚えることです。
- (2) ワークを解き、知識が定着するようにしましょう。ワークは反復して解けるよう、付属のノートを活用するとなおよいです。
- (3) 単元は知識を関連させて、総合的に理解することも大切です。自分の言葉で学習内容を説明できるようにしましょう。その上でも「ノートまとめ」は有効な勉強方法です。

持ち物 地理のとき→教科書・ファイル（授業プリント）・地図帳・ワーク

歴史のとき→教科書・ファイル（授業プリント）・ワーク

※持ち物は全てロッカーに置いて構いませんが、授業開始の時には机上に準備した状態でいてください。

※授業プリントをファイルする時はきちんと折って、ていねいに保管するようにしてください。

### 6 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間、年間105時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	歴史 ・ 大航海時代	10月	地理 ・ 日本の様々な地域 九州地方の特色
5月	歴史 ・ 安土桃山時代	11月	地理 ・ 中国四国地方の特色
6月	歴史 ・ 江戸時代	12月	地理 ・ 近畿地方、中部地方の特色
7月	歴史 ・ 江戸時代	1月	地理 ・ 関東地方、東北地方の特色
8月	夏休みの課題	2月	地理 ・ 北海道の特色
9月	地理 ・ 日本のさまざまな地域 地理的な日本の特色	3月	歴史 ・ 明治時代

## 6 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

#### 観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

#### 観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。

評価材料・・・授業態度、授業プリント、ワークへの取り組み方、その他状況に応じて課された課題など  
例：ファイル（授業プリント）の評価

S：授業中に説明したことを工夫しながらまとめている      A：授業中に説明したことをまとめている

B：一部、まとめていないところがある      C：多くのところをまとめていないが提出する意欲はある

## 第2学年 数 学

数学の授業は、週3時間です。年間を通して少人数の授業を行います。

### 1 学習の進め方

1時間の中でできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講 義・・・教科書の内容を整理し、問題を解きながら理解する。  
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題 演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿 題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) ノートを取る。考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切に。必ずやり直す。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。  
毎日の復習として取り組む。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

## 5 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	第1章 式の計算	10月	第4章 平行と合同
5月	第1章 式の計算	11月	第4章 平行と合同
6月	第2章 連立方程式	12月	第5章 三角形と四角形
7月	第2章 連立方程式 第3章 1次関数	1月	第5章 三角形と四角形
8月	夏休みのため 授業なし	2月	第6章 確率
9月	第3章 1次関数	3月	第7章 四分位範囲と箱ひげ図 1年間のまとめ

## 6 評価・評定について

(1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観 点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
内 容	計算やグラフを書くなど、 数学的に処理することができるか。	先を読む力、根拠を説明する 力など身に着けているか。	数学的活動の楽しさや数学の 良さを実感し、活用としているか。
評 価 材 料	☆定期考査 ☆小テスト等	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆レポート	☆授業への取り組み ☆ノートの記入 ☆ワーク ☆宿題 ☆提出物 ☆再小テスト等 ☆テスト振り返り

(2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

## 7 その他

(1)長期休業中等に、状況に応じて補充教室を行います。

## 第2学年 理 科

### 1 学習の進め方

- 【单元1】「化学変化と原子・分子」（化学分野）
- 【单元2】「生物のからだのつくりとはたらき」（生物分野）
- 【单元4】「電気の世界」（物理分野）
- 【单元3】「天気とその変化」（地学分野）週に1回、1年間かけて進めます

### 2 持ち物について

- (1) 教科書、ノート、資料集（理科便覧）、のり、理科ファイルはいつも用意してください。  
(5点セット)
- (2) 計算・作図の基本と活用ブックは、指示をしたときに用意をしてください。
- (3) グラフを描いたり、光線を描くときには定規を準備しておいてください。
- (4) クロームブックを使用し、調べ学習をしたり、問題を解いたりします。  
必要に応じて準備しておくようにしましょう。

### 3 授業では…

- (1) 観察・実験プリントは返却後ノートに貼り付ける。それ以外の資料プリントや確認発展プリントは理科ファイルで保管すること。
- (2) 実験室を使用するときは、使用上の注意にしたがってください。また、実験・観察ごとに薬品や実験器具・装置の使い方などの注意があるので、しっかりと確認をしていきましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をしましょう。  
(授業中に質問できないときは、授業後や昼休み、放課後を利用する。)

### 4 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、教科書の予習をする必要はありませんが、実験の前などは、実験の方法などを読んできてもらうときもあります。
- (2) 授業の復習が大事です。教科書をよく読み返し、ノートやプリントを見直したり、確認発展プリントや試験対策プリント、教科書の单元末・章末問題で問題を解く練習などをしたりしましょう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (3) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いきましょう。

### 5 2年生での学習内容（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容		月	学 習 内 容	
	理科 I	理科 II		理科 I	理科 II
4月	单元1: 物質	单元4: 気象の観測	10月	单元2: 植物	单元4: 雲と前線

5月	単元1: 化学変化	単元4: 気象の観測	11月	単元2: 動物	単元4: 大気の動き
6月	単元1: 化学変化	単元4: 気象の観測	12月	単元3: 静電気と電流	単元4: 大気の動き
7月	単元2: 化学変化	単元4: 気象の観測	1月	単元3: 電流	単元4: 日本の天気
8月	夏休みのため 授業なし		2月	単元3: 電流と磁界	単元4:日 本の天気
9月	単元2 細胞	単元4: 雲と前線	3月	中学1・2年生 の復習	中学1・2年生 の復習

## 6 評価について

### ●主体的に学習に取り組む態度 ●思考・判断・表現 ●知識・技能

3つの観点別でA・B・Cの三段階で評価します。

A…80%以上達成 B…50%以上～80%未満の達成 C…50%未満の達成

その後、これらの観点から5段階で評定をつけます

5…達成度90%以上 4…達成度80%以上90%未満の達成

3…達成度50%以上80%未満 2…達成度20%以上50%未満

1…達成度20%未満

〈実験プリント等の評価〉 S →7点 A→5点 B →3点 C→1点 ㊄→0点

### ●主体的に学習に取り組む態度

・自ら学習に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしているか。

～評価材料～①授業態度や実験の取り組みのようす

②授業ノート

③実験プリント、レポート課題

④提出物

### ●思考・判断・表現

・実験や観察した結果を自ら分析し、わかりやすく表現することができるか。

～評価材料～①実験プリント、レポート課題

②定期テスト、小テスト

③授業ノート

### ●知識・技能

・基本的には科学的な概念や法則を理解しているか。

・実験器具を正しく、安全に使うことができるか。

・実験や観察の結果などの情報を丁寧に記録、整理し、活用することができるか。

～評価材料～①実験プリント、レポート課題

②定期テスト、小テスト

③実技テスト

## 第2学年 音楽

### 1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、基礎練習
- (3) 練習（個人、パート、全体）
- (4) プリント学習
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜にしっかりメモをしましょう。
- (4) プリントの内容やわからないことをそのままにしないようにしましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 宿題や提出物は期日を守って取り組みましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。  
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的に授業で話したことを出題するため、授業内容をしっかり聞きましょう。
- (2) プリントにしっかり目を通しましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

## 5 2年生での学習内容 (授業時間 週1時間 年間35時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：校歌（混声三部合唱） 鑑賞：交響曲第5番「運命」	10月	歌唱：課題曲、自由曲
5月	歌唱：校歌、課題曲「旅立ちの時」、 夏の思い出 鑑賞：交響曲第5番「運命」 芸術鑑賞教室	11月	歌唱：実技テスト（課題曲） 鑑賞：楽典
6月	歌唱：夏の思い出 実技テスト（夏の思い出） 各クラスの自由曲	12月	器楽：箏 （実技テスト）
7月	歌唱：課題曲、自由曲	1月	歌唱：卒業式歌 鑑賞：オペラ「アイーダ」
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：校歌、卒業式歌「春風の中で」
9月	歌唱：課題曲、自由曲 鑑賞：歌舞伎	3月	歌唱：校歌、卒業式歌 創作：旋律創作

## 6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 【知識・技能】

定期テスト

実技テスト（発声、歌詞の発音の仕方、身体の使い方、声の響きなど）

#### 観点2 【思考・判断・表現】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（強弱や表情などの表現、曲にふさわしい音楽表現）

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

授業への取り組み（発言、発表、ワークシート、練習態度など）

提出物（ワークシート、振り返りシートなど）

## 第2学年 美術

### 1 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付ける
- (2) 参考作品や資料を基にアイデアを練る。
- (3) 制作の順序を考え見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 表現することを楽しんで活動する。
- (2) 表現したいイメージや主題を明確にする。
- (3) 授業準備をする。（材料、資料やアイデアに関するものを含む）
- (4) 授業時間の中で制作の時間配分を工夫する。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集める。
- (2) 学習内容に関連したものに関心を持つ。
- (3) 情報を発想や構想に生かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねる。
- (4)

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業課題に関連した教科書、資料集、プリント内容の確認。
- (2) 基礎知識を実技に活用できるようにする。
- (3) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持つ。
- (4) 授業の振り返りをする。

## 5 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	自己紹介：花のスケッチ 木彫の基礎	10月	木彫なべしき：制作 仕上げ
5月	鑑賞：ゲルニカ 木彫なべしき：デザイン	11月	季節感のある暮らしを楽しむ 「五感で楽しむ季節の和菓子」
6月	木彫なべしき：制作	12月	鑑賞：「時」 明暗の表現
7月	木彫なべしき：制作 鑑賞：「和菓子」	1月	スクラッチ制作：下絵
8月	夏休みのため 授業なし	2月	スクラッチ制作：スクラッチ
9月	鑑賞：北斎からゴッホへ 木彫なべしき：制作	3月	スクラッチ制作：スクラッチ・彩色 鑑賞

## 6 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1

- ・ 期末テスト
- ・ 実技テスト
- ・ 作品

#### 観点2

- ・ 期末テスト
- ・ ワークシート
- ・ アイディアスケッチ
- ・ 作品解説カード

#### 観点3

- ・ 期末テスト
- ・ 作品制作過程、提出
- ・ 授業への取り組み（授業カード）
- ・ まとめワークシート

## 第2学年 保健体育

### 1 学習の進め方

- (1) ラジオ体操を行います。
- (2) 準備運動の後に主運動を行います。
- (3) 必要に応じて学習カードを活用します。
- (4) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (3) 教師の話をよく聴き、自ら考え、主体的に取り組みましょう。
- (4) わからないことはそのままにせず、聴くなどして解決しましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 自分に合った運動に取り組みましょう。わからないときは聴きましょう。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業で学んだことを振り返りましょう。
- (2) 「図解中学体育」を活用しましょう。
- (3) 「新中学保健体育」を活用しましょう。
- (4) わからない時は積極的に聴きましょう。

## 5 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技 体づくり運動	10月	器械運動 保健
5月	陸上競技 体づくり運動	11月	長距離走 保健
6月	陸上競技 保健	12月	バレーボール 保健
7月	水泳	1月	ソフトボール 保健
8月	夏休みのため 授業なし	2月	バスケットボール 保健
9月	陸上競技 保健	3月	ハンドボール 保健

## 6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

（評価材料）＊技能テスト ＊授業中の技能 ＊定期考査 ＊学習カード

#### 観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（評価材料）＊学習カード ＊授業中の表現 ＊定期考査

#### 観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

（評価材料）＊授業の取り組み ＊学習カード

## 第二学年 技術家庭科（家庭分野）

### 1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は教室で行いますが、授業内容によっては被服室で行う場合もあります。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書したり、先生の話聞いてメモをします。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。

### 2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や着席をしておく。
- ・授業は私語をせずに集中して取り組む。

### 3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業ワークシートを参考に、教科書を復習する。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業ワークシートを中心に、教科書を復習する。

## 5 2年生での学習内容

月	学習内容	月	学習内容
4 ～ 7 月	1. 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしいコーディネート ③和服の文化 ④衣服の選択  2. 日常着の手入れと保管 ①繊維に応じた衣服の手入れ ②洗濯の方法 ③補修や収納、保管	1～ 3月	1. 私たちの消費生活 ① 消費者としての自覚を持つ ② 販売方法と支払い方法について知ろう ③ 商品の選択と購入について ④ 消費者トラブルを解決する方法を考えよう ⑤ 消費者の権利と責任について考えよう ⑥ よりよい消費生活を目指して 2. 環境に配慮した消費生活 ① エネルギー消費を減らす方法を考えよう ① 持続可能な社会を目指そう  学習のまとめ
9 ～ 12 月	3. 生活を豊かにするものの製作 ①布による作品製作（エコバッグ） ②製作の基礎・手縫い、ミシン 4. 持続可能な衣生活 学習のまとめ		

## 6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### ★ 観点別評価と評価材料

#### 観点1 【知識・技能】

\* 定期考査、実技テスト、ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

#### 観点2 【思考・判断・表現】

\* 定期考査、ワークシート、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

\* 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。

\* 授業プリント、その他状況に応じて課される提出課題

## 第2学年 技術家庭（技術分野）

### 1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

### 2 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は教室、木工室、金工室を使用します。
- ・ 授業でプリントを配布します。板書された用語などをプリントに書き込むだけでなく、先生の説明も書き込むようにしましょう。
- ・ 安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 授業の終わりに授業のまとめをします。各自、授業で学んだことを記入できるようにしましょう。プリントは毎回提出です。
- ・ プリントはファイルに綴じます。ファイルは毎学期の終わりごろ提出です。プリントが返却されたらすぐファイルに綴じる習慣をつけましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ずファイルが必要になるので忘れないようにしましょう。
- ・ 授業のプリントを復習しましょう。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 授業プリントを中心に、教科書を復習する。

## 5 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【 B エネルギー変換の技術 】 作品製作 ラジオ製作	10月	【 A 材料と加工の技術 】 作品製作 スプーン製作
5月	作品製作 ラジオ製作	11月	作品製作 部品加工
6月	作品製作 ラジオ製作	12月	作品製作 部品加工
7月	作品製作 ラジオ製作	1月	作品製作 部品加工
8月	夏休みのため 授業なし	2月	作品製作 部品加工、やすりがけ
9月	作品製作 ラジオ製作	3月	<学習発表会>

## 6 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

### ★ 観点別評価と評価材料

#### 観点1 【知識・技能】

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。

\* 期末考査 \* 学年末考査 \* 製作品

#### 観点2 【思考・判断・表現】

生活について見直し課題を見付けその解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

\* 授業プリントの記入内容 \* 製作品

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

生活や指導について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

\* 授業プリントの記入内容 \* 授業態度

## 7 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業では怪我をしないよう安全に実習・作業を行っていかねばなりません。そのために集中して作業に取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

## 令和5年度 小平市立小平第四中学校 教科シラバス

## 第2学年 外国語（英語）

## 1 持ち物

5点セット（教科書、ノート、ワーク、辞書、A4ファイル）

「いつも通り」と言ったら5点セットのことです。学校に基本的には置いておいていいですが、自己責任です。自分で計画的に持ち帰り学習しましょう。

## 2 2年生の学習内容（授業時間は週4時間で年間140時間）あくまでも予定です

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	Starter This Month's Books Lesson 1 Peter Rabbit	10月	Project 2 修学旅行のプランを 提案しよう <span style="border: 1px solid black;">中間テスト</span>
5月	Lesson 1 Peter Rabbit Listen 1 Talk 1 Plus 1 Lesson 2 My Dream <span style="border: 1px solid black;">中間テスト</span> Listen 2 Talk 2 Plus 2 Information2	11月	Lesson 6 Tea from China Listen 5 Talk 5 Plus 6 Information 4 <span style="border: 1px solid black;">期末テスト</span>
6月	Project 1 将来の夢を紹介しよう Lesson 3 Every Drop Counts Plus 3 <span style="border: 1px solid black;">期末テスト</span>	12月	Lesson 7 Rakugo Goes Overseas Listen 6 Talk 6
7月	Lesson 4 Uluru Listen 3 Talk 3 Plus 4 Information 2	1月	Project 3 ディスカッションをしよう
8月	夏休みの宿題	2月	Fun 2 The Little Prince <span style="border: 1px solid black;">学年末テスト</span>
9月	Fun1 A Pot of Poison Lesson 5 Things to Do in Japan Listen 4 Talk 4 Plus 5 Information 3	3月	Fun 2 The Little Prince

※課題、小、パフォーマンステスト、復習テスト、提出物の日程は後日お知らせします。

## 3 評価・評定

観点1（知識・技能）

定期テスト、パフォーマンステスト（スピーキング、スピーチ、朗読（音読）など）、リスニングテスト、小テスト、課題テスト、復習テスト、提出物

観点2（思考、判断、表現）

定期テスト、提出物、パフォーマンステスト、リスニングテスト、小テスト、課題テスト、復習テスト

観点3（主体的に学習に取り組む態度）

定期テスト、提出物、パフォーマンステスト、小テスト、課題テスト、復習テスト

評定は5段階 5（90%以上） 4（80%以上～90%未満） 3（50%～80%未満）

2（20%以上～50%未満） 1（20%未満）

評価は3段階の A（80%以上）, B（50%以上～80%未満）, C（50%未満）

#### 4 授業プリント

欠席したときは授業プリントを必ず担当の先生に後から自分でもらうこと。少人数なので自分の席にプリントは入っていないことがあります。提出物にかかわるものが配布されることもあります。成績にかかわってくるので注意しましょう。授業では帯活動（毎回短時間くり返し行う学習）として、Say it and spell it、song などその他予定しています。Song は月ごとに変わります。

#### 5 ワーク

すべてに○つけをする。間違えたところは赤で訂正する。期限厳守。一齐に集めますので締め切りすぎると減点します。また、○つけがぬけていたり、やっていないところがあったら再提出です。ワーク提出日は英語の試験最終日に一齐に提出。（最終 16:00 まで）

#### 6 ノート

- ・ノートは自分で購入してください。必ずクラス、出席番号、名前記入。大学ノートが望ましい。B5 タイプ

記入例 ノートの中

表紙

English

2年 組 番

名前

通し  
番号  
記入

1 I am happy.	8 I am in the first
2 Please send n email to me.	9 She is lovely.
3 I like tennis.	10 Miki plays tennis.
4 I can play soccer.	11 Does Miki play tennis?
5 He is my father.	12 Talk to you later.
6 Studying English is fun.	13 Look at the time.
7 He is on the football team in the fall.	14 You can be friends with it.

字  
は  
美  
し  
く

無  
記  
名  
は  
未  
提  
出  
扱  
い

- ・ノート回収予定日 一齐に集めます。締め切りすぎると減点します。文が足りないと出したことになりません。

第1回目 4/20 (木) 100文	第7回目 10/24 (火) 100文
第2回目 5/24 (水) 100文	第8回目 11/21 (火) 100文
第3回目 6/16 (金) 100文	第9回目 1/9 (火) 始業式 200文
第4回目 7/6 (木) 100文	第10回目 2/6 (火) 100文
第5回目 9/1 (金) 始業式 200文	第11回目 3/1 (金) 100文
第6回目 9/27 (水) 100文	

#### ノートの約束事

- ①通し番号を必ず左側に書く。
- ②100文書く。字は丁寧に。100文以上書いてもOK
- ③英作文は英借文。自分の書きたいことがモデルの文章にあればそれを真似て書けば、英文もミスのないものになる。自分のレベルに合わせて、英文を選び、「音読→暗唱→暗写」を続けていく。
- ④3語以上の英文を書こう。(Yes. No. など一語や二語だけ以外)
- ⑤自分の為になる文を書く。作業にならないようにすること。

## ノートについて

どんな文を書いたらよいか。

- ①音読できるようになった教科書の文章を何度も書き写す。
- ②テストで間違えた英文をもう一度書く。
- ③自分の好きな本や歌を書き写す。
- ④英検準2級を取得した生徒は英作文に切り替えます。(こちらが課題を与えます)
- ⑤ペアワークで自分や相手が言った文章を書く

### 7 小テスト (Say it Spell it の単語テスト)

授業で4回やった後単語テストになります。各自準備しておきましょう。単語プリントは一番最初の授業で配布します。Step1×4回→テスト→Step2 というように進みます。

告知しませんので各自4回授業で終わったらテストだと覚えておいてください。

### 8 復習テスト

単元が終了するごとに30分のテストをします。Lesson1 終了→テスト→Lesson2 というようにすすめていきます。年間で8回予定しています。

### 9 課題テスト

夏休み、冬休みあけにテストを予定しています。

### 10 リスニングテスト

一年生の時にやったことと同じです。定期テストでもします。

### 11 パフォーマンステスト (一学期の予定) 二学期はまたお知らせします。

ALT (Sean 先生) と評価します。

5月 朗読テスト 6月 スピーキングテスト 7月 スピーチテスト

### 12 提出物 その他授業の中で伝えます。

### 13 ESAT-J

令和4年度の都立入試でスピーキングテストが導入されました。試験内容を見てみると PartA 音読テストが2題、PartB 絵を見て質問に答える2題、自分で考えて答える1題、自分で質問を考えて言う1題です。PartC 四コマイラスト問題。準備時間30秒でイラストのストーリーを考える、解答時間40秒、PartDは、英語で話される音声を聞いたうえで、質問に対する自分の考えとそう考える理由を英語で述べる問題。準備時間1分、解答時間40秒。

音読テスト対策は普段教科書をよく音読することが大切です。強勢、リズム、抑揚、発音、流暢さが大事です。評価されるポイントは、豊富で幅広い語彙・表現や文法を柔軟に使用することができる、語彙や文構造及び文法の使い方、意見(自分の考え)をサポートする理由を伝えることができる、問いかけに応じた内容を伝えることができるかなどを採点されます。また、絵を見て自分の言いたいことを英語で表現できるか、各コマのイラスト(事実)の内容を伝えることができているかを評価されます。授業の中で友達と英会話をする機会を大切にしましょう。英文をたくさん貯蓄して使えるようにする。インプット(たくさんの英文を暗記、音読、読解、リスニング、文法理解)なしではアウトプット(話す、書く)はできません。A 20点 B 16点 C 12点 D 8点 E 4点 F 0点と点数化され結果は3年の調査書の「諸活動の記録」欄内に記載されます。

### 14 英検受験のすすめ 私立の受験の際役に立つことがあります。(3級以上が望ましい)

立川の英検センターで頻繁に試験が行われているので是非受けてみてください。筆記だけでなく、パソコン入力など選択できます。立川の英検センターで何回も英検を受けるチャンスがあります。3年の2学期までに取れたらいいですね。